

福岡和白病院腫瘍内科で悪性腫瘍に対して 病理解剖を受けられた患者様のご家族へ

当院腫瘍内科では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはありませんのでご安心ください。またご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。

また、この研究は当院の臨床研究審査委員会の審査を受け、病院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	悪性腫瘍患者における生前臨床診断と病理解剖診断との乖離
当院の研究責任者（所属）	腫瘍内科 柴田義宏
本研究の目的	悪性腫瘍患者における生前臨床診断と病理解剖診断との乖離について検討します。
調査データ該当期間	西暦2015年12月1日から西暦2023年5月31日
研究方法	<p>上記期間に当院腫瘍内科にて病理解剖を施行された患者さん</p> <p>●使用するカルテ情報●</p> <p>① 臨床所見（年齢、性別、合併症、臨床病期、転移巣）</p> <p>② 画像所見（CT 検査）</p> <p>③ 病理学的所見（病理解剖所見を含める）</p> <p>④ 治療（化学療法の有無、放射線治療の有無、延命治療の有無）</p> <p>⑤ 入院期間、最終 CT 画像検査時期、予後 など</p>
個人情報の取り扱い	<p>研究に利用する試料や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。当院の研究責任者は、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける情報も含めて、責任をもって適切に管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報が公表されることは一切ありません。</p> <p>将来、この研究で得られた情報も別の研究に利用（二次利用）する可能性があります。その場合も個人を直ちに判別できる情報を出すことはありません。二次利用する場合は、その研究計画について改めて倫理審査委員会及び研究機関の長の承認を得て実施となり、その内容は参加機関のホームページ等で公開されます。</p>
本研究の資金源・利益相反 [※] について	本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	<p>福岡和白病院 腫瘍内科</p> <p>電話：092-608-0001（代表）</p> <p>研究責任者：柴田義宏</p>